

# 2026年度 枚岡NC 4月行事報告書

2026.4.23 (写真石田,藤井,石井:文石井)

- ① 行事名 「草花ハイク」
- ② 実施日 2026年4月19日(日)
- ③ ねらい 「春の草花をのんびり歩きながら観察しよう」
- ④ コース 枚岡公園事務所~中展望(休憩)~額田展望台~桜広場(昼食)~豊浦橋~椋ケ根橋~公園事務所
- ⑤ 参加者 一般参加者16名 スタッフ5名 ドングリの会1名 計22名
- ⑥ 内容

9:30 始めの会 会長挨拶・スタッフ紹介・参加者自己紹介・行程や注意事項

9:44 準備体操 9:47 出発

10:00 花壇 花壇のピオラの間に生えている春の草を見て「写真と同じものを見つけ」をする。2グループに分けてそれぞれのスタッフと観察をする。カンサイタンポポとセイヨウタンポポ



の比較や花のつくりの説明をしループの使い方を知ってもらう。額田の辻ではループを使って

「よ〜く見ると」に挑戦。ヒメウズの萼片の中の黄色い花弁を見たり、ハナイバナの中の白い部分を見たりした。

初めは戸惑っていた参加者も花の顔をじっくり見出し、コハコベのオシベの数や花弁の数を数え楽しみ始めてくださった。

ウラシマソウもじっくり見た。

途中のジロボウエンゴサクの花は終わりにかけていたが、下見では確認できなかったツクバキンモンソウやギンランが足元にありスタッフも感動だった。



(ツクバキンモンソウ)



(ギンラン)



(ホタルカズラ開花はじめ)



(なにになに?)

11:10 中展望でお茶休憩。黄砂のせいか霞んでいる東大阪や大阪市内を展望した。ここではキュウリグサの花の顔を見てハナイバナとの違いを確認。

額田展望台を横目に見て今日一番のおすすめホタルカズラを見ていただく。赤紫色から青紫色に色が変ることや葉の表面の刺のような毛に驚かれていた。

12:00 桜広場に到着。珍しいムベの花やフデリンドウの花にカメラが集中した。



(ムベ) (フデリンドウ) (ウマノアシガタ) (オニタビラコ)

春は黄色い色の花がたくさんありここまでで以下のものを見てきた。

- ・カンサイタンポポ・セイヨウタンポポ・ジシバリ・オニタビラコ・コウゾリナ
- ・カタバミ・ウマノアシガタ・ニガナ

1240 桜広場を出発し豊浦橋上でイロハモミジの小さい果実になった雌花と雄花をルーペで愛でた。イロハモミジのこの季節のみずみずしい葉の色にも心が和まれたようだ。沢沿いのニリンソウやホウチャクソウ、シャガの花を見ながら椋根橋に向かった。



1350 枚岡公園事務所 到着 椋根橋上でイヌシデの枝先につく虫こぶを見たり、果実となったタネツケバナがタネを弾きとばす様子に見入ったりし、のんびり歩いての到着ととなった。斜面に植えられた枚岡NCの植樹事業のヤマザクラの話も会長から伝えられた。

最後にタンポポ調査の結果報告をし、その後参加者の感想をお聞きした。

14:15 解散

#### 【参加者の感想】

- ・何回も来て何度も花の名前を聞いているがなかなか覚えられない。繰り返し覚えていきたい。
- ・初めて参加した、目からウロコでした。次の機会にはクサイチゴなども食べてみたい
- ・よく来ているが今日は緑の葉ばかりでなく、よく見ると花もたくさんありました。
- ・気付かないことが多く、また、来たいです。
- ・初めて参加した。いろいろ勉強になった。
- ・初めて参加した。花の名前教えてもらい良かった。
- ・2回目の参加です。ニリンソウに会えて感動しました。
- ・初めて参加です。かわいい花に会えて良かった。また、参加したいです。
- ・楽しかった。秋のアケビの時にも参加したいです。
- ・クサイチゴ、アケビは食べたことが無いが、食べればその植物名もすぐ覚えられると思う。
- ・2年前と一緒に参加した主人がなくなり今日は一人で参加、ホタルカズラを見られてよかった。
- ・植物たちの生き様を知れて良かった。